

平成19年 5月21日

## 平成19年4月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

### 1 調査日

平成19年4月7～11日

### 2 調査船

くろしお(260トン)

### 3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採取し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採取等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

### 4 調査結果

#### 【カタクチイワシ】

県西部海域

#### ・卵の分布状況

宇治群島周辺海域で比較的高い密度の分布が見られ、1定点あたりの平均採取数は前年を大きく上回ったものの平年を大きく下回った。

#### ・稚仔魚の分布状況

西薩海域および宇治群島周辺海域でかなり高い密度の分布が見られ、1定点あたりの平均採取数は前年を上回り平年並みであった。

薩南・県東部海域

#### ・卵の分布状況

薩摩半島南部海域でかなり高い密度の分布が見られ、三島村周辺海域から種子島西部海域で比較的高い密度の分布が見られた。1定点あたりの平均採取数は前年を上回り平年並みであった。

#### ・稚仔魚の分布状況

薩摩半島南部海域でかなり高い密度の分布が見られ、三島村周辺海域から種子島海域で比較的高い密度の分布が見られた。1定点あたりの平均採取数は前年・平年を大きく上回った。

#### 【その他のイワシ類】

卵、稚仔魚とも採取数は少なかったものの、マイワシの卵・稚仔魚が西薩海域および宇治群島周辺海域、薩摩半島南部海域で、ウルメイワシの卵稚仔魚が北薩海域および宇治群島周辺海域、鹿児島湾口部、屋久島周辺海域で採取された。